

PhotoScore 6 Lite

PhotoScore 6 Ultimate

簡単使い方ガイド

こちらのガイドでは、Sibelius 6 / Sibelius 6 First に付属している PhotoScore 6 Lite、または PhotoScore 6 Ultimate の簡単な使い方に関してご案内いたします。

PhotoScore のインストールやアンインストールについては、PhotoScore 6 Lite をお持ちの方は Sibelius の『ハンドブック』、PhotoScore 6 Ultimate をお持ちの方は付属の日本語『ユーザーガイド』をご参照ください。また、詳しい使い方に関しては、PhotoScore 6 Ultimate に付属する日本語『ユーザーガイド』や Sibelius の『Sibelius リファレンス』の「スキャニング」の項目をご参照ください。

尚、Sibelius 6 または Sibelius 6 First に付属する PhotoScore 6 Lite や、PhotoScore 6 Ultimate のメニューは英語で表示されますので、予めご了承ください。

■ PhotoScore について

PhotoScore では、楽譜を「スキャン(取り込み)」、「読み取り」、「修正、編集」、「Sibelius へ送信」という 4 つの流れがあります。

1. スキャン(取り込み)	紙の楽譜をスキャナでスキャンする・画像ファイル/PDF ファイルを開く
2. 読み取り	楽譜の内容を PhotoScore が分析して読み取る
3. 修正、編集	読み取られた内容を修正・編集する
4. Sibelius へ送信	修正・編集した内容を Sibelius へ送信する

では、流れに沿ってご説明いたします。

■ 準備

1. まず、PhotoScore を起動します。Sibelius をお持ちの場合は、Sibelius の [ファイル] メニューから [PhotoScore でスキャン] をクリックします。(またはメニューバーのスキャンアイコン)



Sibelius を起動せずに PhotoScore を起動したい場合、または Sibelius をお持ちで無い場合には、Windows の場合は [スタート] > [全てのプログラム] > [Neuratron] > [PhotoScore Ultimate](または [PhotoScore Lite])を起動します。Mac をお持ちの場合には、[アプリケーション] フォルダから [Neuratron PhotoScore Ultimate] または [Neuratron PhotoScore Lite] を起動します。

2. PhotoScore Lite を起動すると、PhotoScore Ultimate へのアップグレードを促す画面が表示されます。確認したら、[continue] をクリックしてください。



以上で準備は完了です。ステップ 1 へ進みましょう。

■ ステップ 1 – 楽譜のスキャン

PhotoScore で行うことのできるスキャンの種類について、ご説明します。

楽譜をスキャンする方法は、3 つあります。

スキャナ	紙に印刷されたスコアをスキャンする場合
画像	スキャンしたい楽譜が、BMP ファイル(Mac の場合は TIFF) としてコンピューター内に保存されている場合
PDF	スキャンしたい楽譜が、PDF ファイルとしてコンピューター内に保存されている場合

スキャナを使ってスキャンする

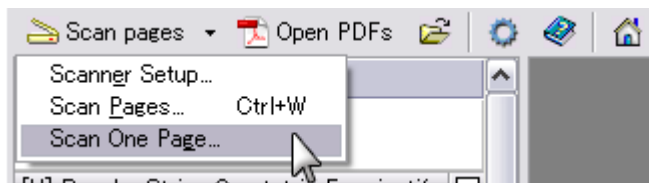
スキャンを行う前に、スキャナに関する注意事項です。

1. **スキャナ(外部機器)** を用意し、コンピューターに接続する必要があります。コピーやプリンタ等の機能が搭載された「複合機」のようなスキャナでも TWAIN に対応しているスキャナであれば問題ありません。詳しくはお使いのスキャナのメーカーへお問い合わせください。

2. PhotoScore でスキャナを使用するには、スキャナをネットワーク経由ではなく、**直接 USB 等**を使用してコンピューターと接続することを推奨しています。LAN 接続(無線接続)のスキャナは正しく動作しない場合があります。(※ LAN 接続のスキャナが正しく動作しない場合には、「画像をスキャンする」または「PDF をスキャンする」の方法を利用してください。)

実際に楽譜をスキャンするには:

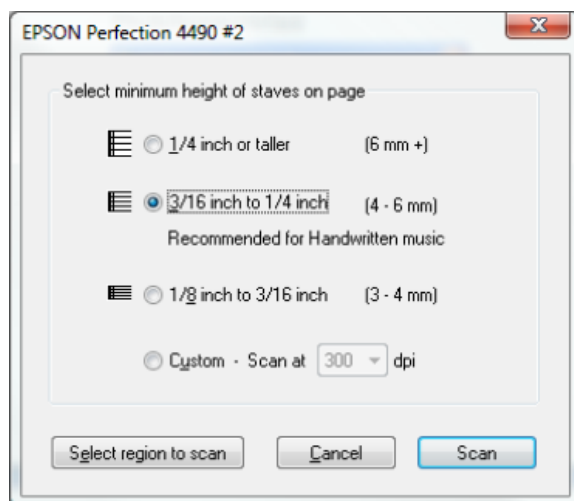
1. スキャナに楽譜をセットします。今回は練習のため、何か 1 枚の楽譜を用意してください。
2. PhotoScore の [File] から [Scan One Page] をクリックします。(またはメニューバーの[Scan One Page])



3. 表示される画面は、設定やスキャナによって異なりますので、注意してください。以下をご参照ください。

Automatic スキャニングインターフェースが表示されている場合(Ultimate)

以下のような画面が表示されます。スコアの状態にあったものを選択し [Scan] をクリックしてください。スキャナが動き始めます。



1/4 inch or taller	譜表の高さが 6mm 以上
3/16 inch to 1/4	譜表の高さが 4～6mm (手書き譜面の場合はこれを選んでください。)
1/8 inch to 3/16 inch	譜表の高さが 3～4mm
Custom	解像度を任意の数に設定する場合

※ 譜表とは、1 段の 5 線(またはその他の譜表) を指します。



TWAIN インターフェース

お使いのスキャナのドライバが表示されます(例: Epson スキャン等)。使用方法はスキャナメーカーによって異なりますので、詳しくご説明することができませんが、カラーは「白黒(モノクロ)」または「256 グレースケール」に設定し、解像度はスキャンする楽譜によって以下のように設定して、[スキャン] のようなスキャンを実行するボタンをクリックしてください。

上記画面が表示されない場合・エラー画面が表示される場合

個別にスキャナのドライバソフトを立ち上げ、楽譜を画像ファイル(BMP ファイル/Mac は TIFF ファイル) 、または PDF ファイルとしてコンピューター上に保存してください。

ファイルとしてコンピューター上にスコアを保存した後、以下の「**画像をスキャンする**」または「**PDF ファイルをスキャンする**」の方法でファイルを PhotoScore に取り込みます。

画像をスキャンする

直接スキャナで楽譜をスキャンする以外に、BMP ファイル(Mac では TIFF ファイル) の画像ファイルを、PhotoScore で開くことができます。

PhotoScore の[File] から [Open] を開き、画像ファイルを指定して開いてください。解像度を尋ねられますので、適宜楽譜の状態に合わせて解像度を設定してください。

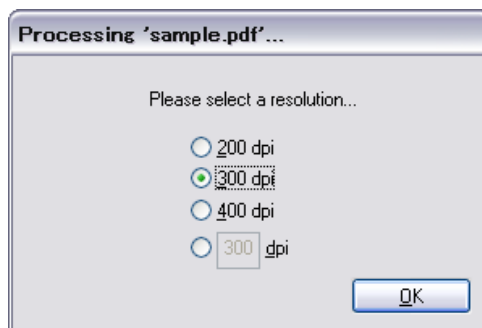
PDFファイルのスキャンする

PDF ファイルとして保存されたスコアファイルを、PhotoScore で開くことができます。

PhotoScore の [File] から [Open PDF] を開き、PDF ファイルを指定してください。(またはメニューバーの [Open PDFs])



解像度を尋ねられますので、適宜楽譜の状態に合わせて解像度を設定してください。

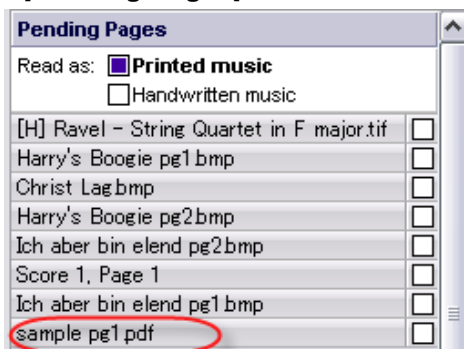


尚、PDF ファイルをスキャンするには **GhostScript** というツールのインストールが必要です。詳しくは、Sibelius FAQ をご参照ください。www.sibelius.jp/support/faq/photoscore/pho_03.html

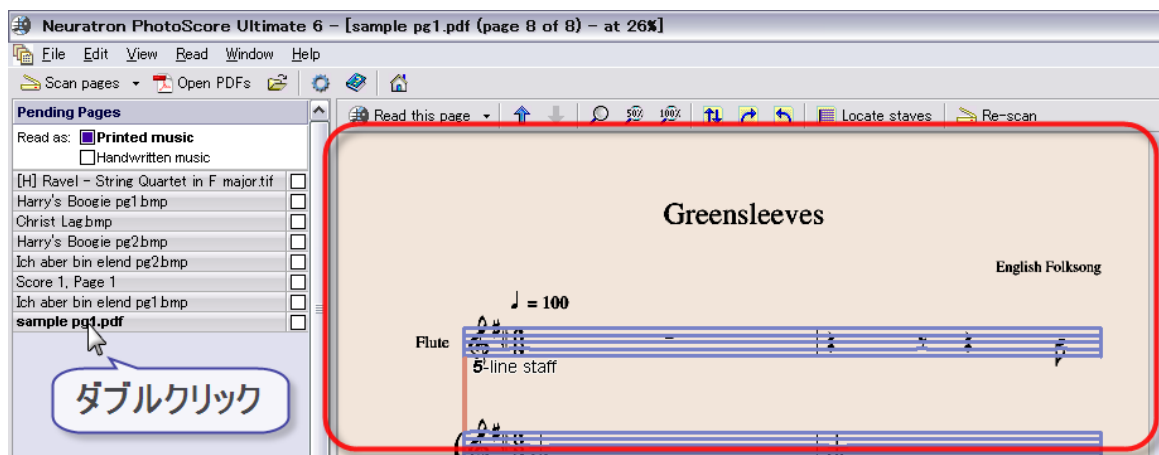
上記いずれかの方法でスキャンが完了したら、**ステップ 2**に進みましょう。

■ ステップ 2 – 楽譜の読み取り

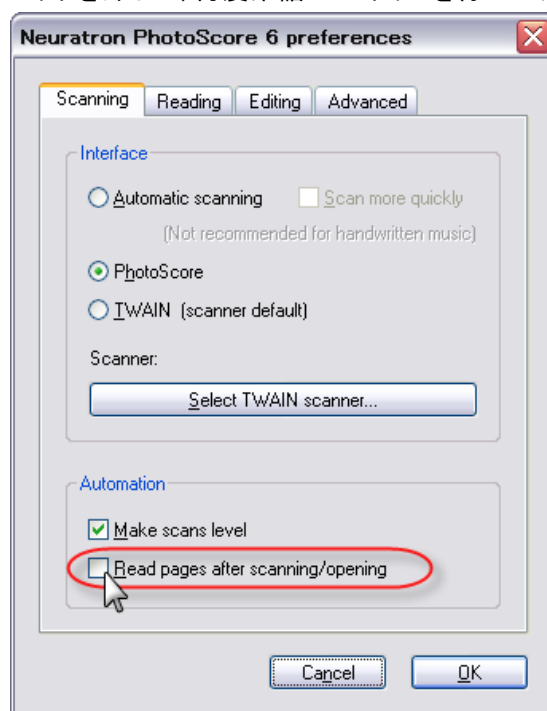
楽譜のスキャンが終わると、左側の [Pending Pages] という欄に、今スキャンした楽譜が表示されます。



名前欄をダブルクリックすると、右側に楽譜が表示されます。



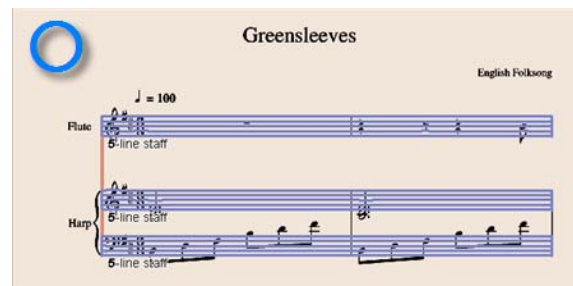
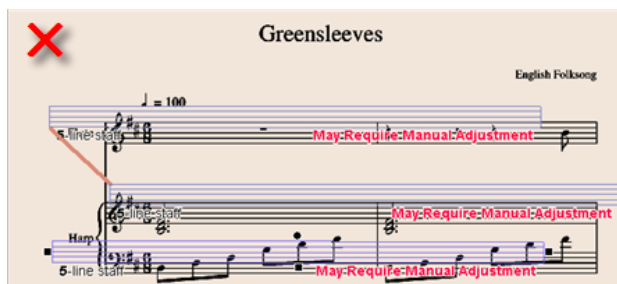
※ PhotoScore Ultimate の場合、初期設定で直ぐにステップ 3 に飛ぶようになっています。ステップ 2 を実行したい場合には、[File] > [Preferences] > [Scanning] タブを開き、[Read pages after scanning/opening] のチェックを外して、再度楽譜のスキャンを行ってください。



楽譜の天地が逆さになっていないこと、回転されていないことを確認してください。天地が逆さになっていたり、回転していたりする場合には下記のアイコンで調整します。

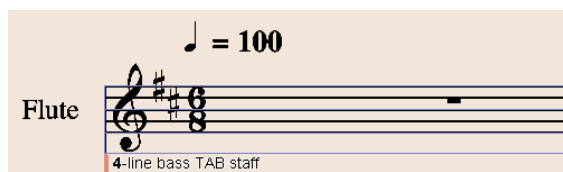


右側の楽譜を見ると、青い線が楽譜の上に引かれている事が分かります。青い線が全く引かれていない場合、著しくずれている場合は、[Locate staves] をクリックします。



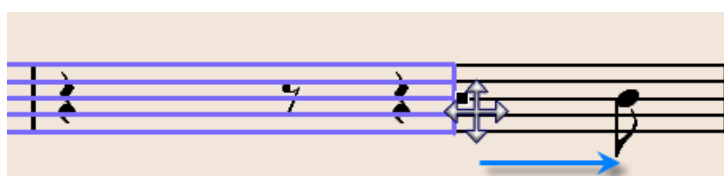
青い線がきちんと重なっているかどうか確認するため、楽譜を少し拡大して確認してください。

5線譜をスキャンしたのに、青い線が4本しか表示されていない場合や、5線の開始位置、終了位置が正しくない場合には、青い線を動かして調整します。

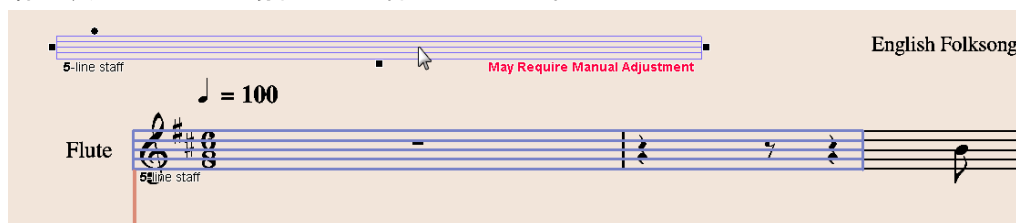


5線が4線として認識されている

終了位置が正しくない



不要な青い線が表示されている場合には削除してください。

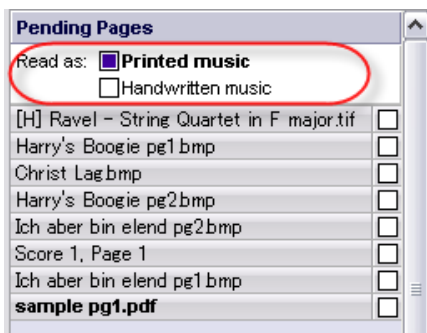


上記の点を確認し、正しく青い線が書かれたら [Read this page] をクリックします。



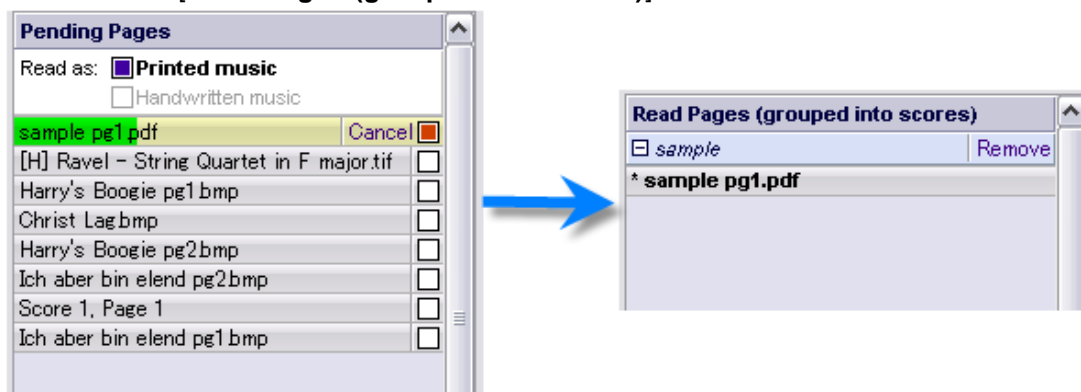
※ 尚、[Read this Page] を実行する際には、楽譜が手書き楽譜か、または印刷された楽譜かという選択をしてください。[Pending Pages] の上部に選択肢があります。現在の楽譜に合わせた選択肢を選んでください。

- Printed music: 印刷楽譜
- Handwritten music: 手書きの楽譜

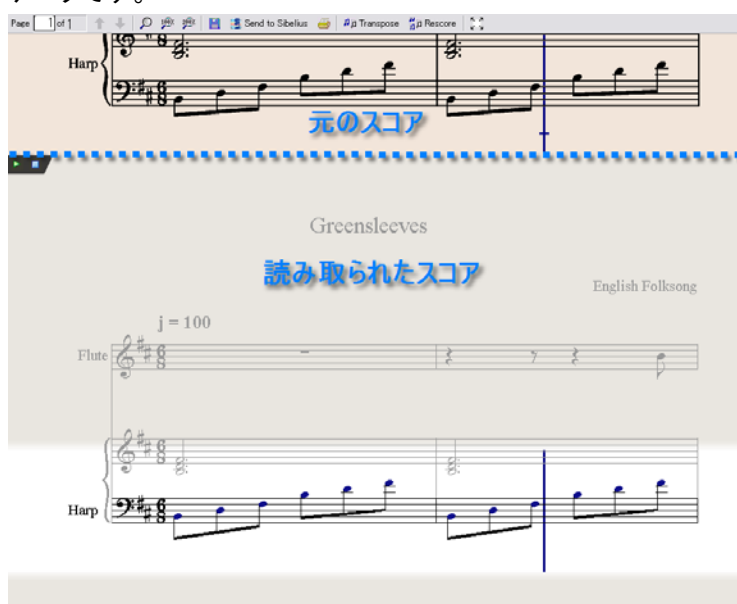


■ ステップ 3 - 修正、編集

ステップ 2 で実行した [Read this page] の後、[Pending Pages] 内のスコアバーが緑色に変化し、読み込みが完了すると左下の[Read Pages (grouped into scores)] に移動します。



ダブルクリックすると、右側に上下に分かれた状態でスコアが表示されます。上段はスキャンした元の楽譜、下段は読み取られた音符データです。

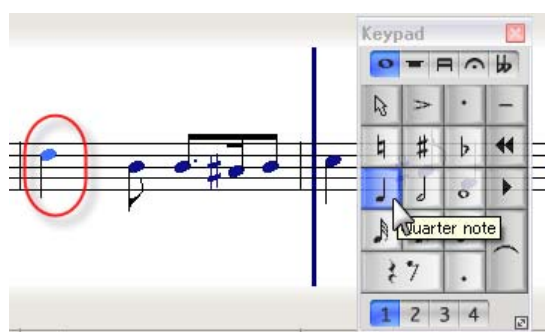


下段の読み取られたデータの楽譜の上にマウスを乗せると、上段の画面に対応するスキャン元楽譜が表示されますので、読み取られた音符データが正しいかどうか確認していきます。

下段の読み取られた音符データには、音符の長さの間違いを指摘する記号が表示されることがあります。以下のような音符の記号です。以下の場合、八分音符 1 個分音符が足りないことを示しています。

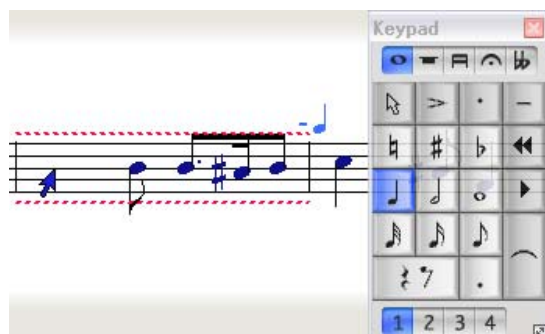


音符の長さを変更するには、現在ある音符をクリックして、テンキーパネルから正しい音符の長さに変更します。



音符を削除したい場合は音符をクリックしてキーボードの[Delete] キーを押します。

音符を新しく追加したい場合には、何も選択していない状態でテンキーパネルの音符をクリックします。マウスが青色に変わるので、スコア上の音符を追加したい位置をクリックします。



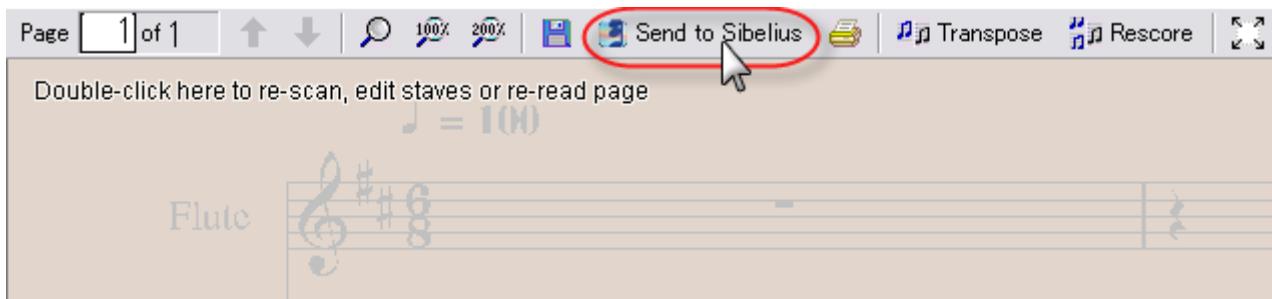
再生を行って読み取り状況を確認することもできます。上段と下段の間にある再生ボタンをクリックすると再生できます。



修正が終わったら、編集をすることができます(移調等)。詳しい操作はリファレンスをご参照ください。

■ ステップ 4 – Sibelius へ送信する

修正が完了したら、Sibelius へスコアを送信します。編集した楽譜を開いている状態で、[File] > [Send to] > [Sibelius] を選択します。(もしくはメニューバーの[Sibelius]アイコン。Sibelius アイコンは、環境によっては表示されないことがあります。)



自動的に Sibelius が起動します。

※ Sibelius をインストールしているにも関わらず、[Send to] に [Sibelius]が表示されない場合は、PhotoScore 上で [File] > [Save as] を選び、PhotoScore ファイルを保存してください。Sibelius 側の[ファイル] > [開く] で PhotoScore ファイルを開くことができます。

※ PhotoScore の体験版は、保存ができませんので、Sibelius にスコアを送ることはできません。